

## 第 5 部 関 係 団 体

## 第1章 公益財団法人奈良先端科学技術大学院大学支援財団

奈良先端科学技術大学院大学が持つ斬新かつ優れた特性及び機能を最大限に発揮できるよう、その教育研究活動を支援するとともに、大学院大学と産業界等との交流を促進することにより、先端科学技術分野の研究開発等を担う研究者、技術者等の育成及び研究開発基盤の充実に寄与し、もって我が国の科学技術の発展に資することを目的として1991年7月18日に設立された。

2011年6月1日には、財団法人から公益財団法人に移行した。

事業内容は次のとおりである。

1. 大学院大学支援事業
  - (1) 大学院大学における教育研究活動に対する支援
  - (2) 大学院大学における国際交流活動に対する支援
  - (3) 大学院大学における学術研究成果の普及に対する支援
  - (4) 大学院大学に対するその他の支援
2. 先端科学技術の普及啓発ならびに交流事業
  - (1) 産学官交流事業
  - (2) 地域交流事業
  - (3) 情報発信事業

### 3. その他

- (1) 高山サイエンスプラザの運営
- (2) 高山サイエンスタウン駐車場の運営

設立された1991年には、大学院大学支援事業（国際交流活動）として海外派遣支援（115万5千円）を行うとともに、産学交流に関する調査研究や大学院大学・支援財団設立記念式典を実施している。その後、各種事業の拡充が図られ現在に至っている。

なお、2011年度は、大学院大学支援事業（教育研究活動、国際交流活動、学術研究成果普及等）として総額3500万円の助成が決定され、うち、創立20周年記念事業として200万円が支援されることとなった。

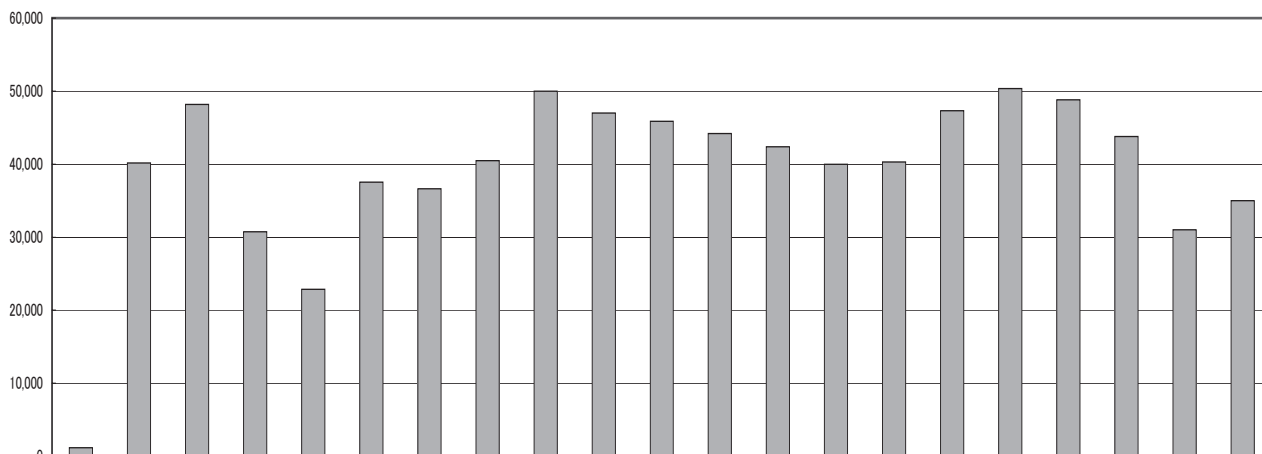
また、地元の中小企業・ベンチャー企業等が、大学院大学と連携して、大学院大学で生まれた研究成果や技術シーズの実用化に向けた研究開発に取り組む場合にその費用の一部を支援する「NAIST発 新産業創出支援事業」等の産学官交流事業を実施している。

さらに、関西文化学術研究都市高山地区の振興と地域の人々の理解と関心を深めるため、高山地区立地施設等連絡協議会の主催として「高山サイエンスタウンフェスティバル」（大学院大学ではオープンキャンパスを実施）等の地域交流事業も実施している。

（文責 企画総務課長 奥田耕市）

## 支援事業費の年度推移(実績ベース)

(千円)



年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	計
合計	1,155	40,168	48,173	30,750	22,890	37,550	36,635	40,461	50,000	47,002	45,886	44,197	42,367	39,980	40,299	47,342	50,344	48,813	43,794	31,023	35,000	823,829

注)2011年度のみ予算ベース (単位:千円)

## 第2章 奈良先端科学技術大学院大学外国人留学生後援会

本後援会は、本学の外国人留学生に対する学修上及び生活上の援助を行うとともに、本学の派遣学生が留学中又は学術交流協定等に基づく外国滞在中の不測の事態に対する援助を行うことにより、本学の留学生交流の一層の促進を図ることを目的として、2000年3月21日に設立された。

### 主な事業

1. 留学生救援者費用保険の加入
2. 留学生の緊急時の一時金貸与（入学料等の学資金の貸付を含む）
3. 学生住宅総合補償制度への加入
4. 新規渡日留学生への生活必需品の貸与
5. 留学生等懇話会での記念品の購入
6. 留学生オリエンテーションの際の在学留学生やチューターとの交流会

本会は本学の教職員のみならず、上記に賛同する個人及び団体等、広く会員を募っており、本会は、会員からの会費によって運営されている。2010年度については、学内教職員49名、学外の団体2団体が加入している。

### ○留学生救援者費用保険加入

留学生救援者費用保険（本学に在籍する留学生が不慮の事故・疾病になった場合、母国から親族を呼び寄せるためにかかる諸費用を補償する保険）に加入する際の保険料を本会が負担する事業であり、2010年度にはのべ93人分の保険料を支援した。

### ○留学生の緊急時の一時金貸与（入学料等の学資金の貸付を含む）

2010年度は5名の留学生、1名の研究生に対し、授業料及び生活一時金として貸付を行った。

### ○学生住宅総合補償制度への加入

留学生住宅総合補償制度（日本国際教育支援協会が実施する制度で、民間アパートに入居する留学生が失火・水漏れなどで家主等に損害賠償をしなければならない場合や、連帯保証人が家主から保証債務の履行請求を受けた場合などに補償が行われる保険）に加入する際の保険料を本会が負

担する事業であり、2000年度には本制度を利用するにあたり必要となる協力金を支援している。2005年、2007年と2名の利用があり、加入の際の保険料を支援した。

### ○新規渡日留学生への生活必需品の貸与（冷蔵庫の購入）

2010年度は合計23台の冷蔵庫を購入し、新入留学生に貸出しを行っている。貸し出し期間は本学に在学する間で、修了の際には返却してもらい、次の新入留学生への貸し出し用に使用することとしている。

### ○国際交流懇話会での記念品の購入

毎年1回本学ミレニアムホールにて、本学の外国人留学生・研究者、教員、チューター（学生）、生駒市・奈良市の行政担当者及び国際交流団体関係者等が一堂に会する国際交流懇話会を開催している。留学生による歌やダンスの披露やゲームを通してお互いに交流を深めているが、その際の記念品の購入を本会から支援している。

### ○新入留学生オリエンテーションの際の学生チューターとの交流会の開催

2010年度から、新入留学生と入学後に留学生の生活支援を行うチューターとの交流会を年に2回開催している。留学生と日本人学生との交流の場となっており、今後も実施していく予定である。

（文責 学生課長 吉田泰彦）

### 第3章 奈良先端科学技術大学院大学同窓会

#### 【設立と経緯】

奈良先端科学技術大学院大学同窓会は、1993年度情報科学研究科入学の城 和貴氏（現奈良女子大学教授）をはじめ各研究科の修了生14名の発起人によって2000年3月11日に設立された。

同窓会の設立に至る経緯は、1994年12月13日及び1995年1月10日開催の火曜会（役員懇談会の前身）の席上、同窓会についての話題が発端となり1995年2月情報科学研究科及びバイオサイエンス研究科の教員及び学生によって打合せ会が開催されたが、大学として統合された同窓会の設立は考えていない旨の意見があり実質的に設立は見送られた。

1999年に鳥居元学長（当時副学長）から同窓会の設立についての検討要請が学生課にあり、大学全体の同窓会が設立され、同窓生相互の親睦や本学建学の目的・使命の達成に寄与していくことを目的として発足した。

2000年3月11日に開催された発起人会及び評議員会において、役員を選出や同窓会規則が制定されたほか、以下の活動方針等が承認された。

- (1) 同窓会の事業概要について
  - ・役員のマーリングリストを作る。
  - ・会報の発行（電子化しホームページに掲載。）
  - ・各研究科・入学年度毎に連絡員を配置

- (2) 会費の徴収

- (3) 今後の運営方針について

今後の評議員会等は、可能な限りメールで開催し、意見交換を行っていくこととする。

同年5月11日に東京都千代田区の砂防会館において関東在住の修了生を対象とした初の東京地区同窓会が開催され、25名の参加があった。

その後、同窓会の活動は、事実上の休止状態となっていたが、2005年頃より同窓会の再出発の話が持ち上がり、2007年4月に城氏（当時同窓会会長）及び学内に在籍する修了生3人を中心に、同窓会の再構築に向けて検討が始まった。2008年3月には、学生課の事務支援により、会計の収支整理を行い、設立からの収支報告書が作成され、会計監査が実施された。

2009年10月には、学内に在籍する修了生6名を中心に、ワーキンググループが設置され、会長及び評議員の了承を得て、以後8回にわたり、同窓会組織の簡素化、運営・活動内容の見直しについて検討が行われた。2010年7月には、学内在籍の修了生3

名を新たにワーキンググループの構成員に加え、9名により同窓会総会の開催及び会誌の発行等について協議が行われた。会誌については、「せんたん同窓会便り準備号」が2010年10月に同窓会のホームページに公開された。

#### 【総会の開催】

2010年11月13日に学内で同窓会総会が開催された。総会において、同窓会会則の改正が承認されるとともに、新役員を選出が行われ、城会長に代わり、門田暁人氏（情報科学研究科准教授）が新会長に選出された。引き続き、新会長のもとで、意見交換が行われ、以下の方針が確認された。

- ・同窓会運営はウェブやメールによるオンライン運営を中心とする。
- ・NAIST ネット（大学が運営するコミュニケーションサイト）を活用し、同窓会への加入を呼びかける。
- ・会費の徴収及び使途については、引き続き、理事会等において検討する。

また、同窓会の今後の運用方針についても新会長より大学事務局と協力して理事会、総会を開催していくことが確認された。

大学の創立20周年を迎えた2011年10月1日には、大学でのホームカミングデーの開催に併せて、総会及び懇親会が開催された。

総会においては、

- ・同窓会名簿の作成については、今後は、研究室に協力いただき数年毎に更新する。
- ・会費徴収のこれまでの経緯について調査すること。

等が確認され、さらに、今後の同窓会運営に関しても活発な意見交換が行われた。

（文責 学生課長 吉田泰彦）